

『日々是好日』上映会及び分水高校生徒とのパネルディスカッション について

国際ロータリー2560 地区
ライラ委員会 委員 久住 勲夫

分水ロータリークラブでは、毎年、地域住民交流の事業について力を入れており、今回は、分水高校が、近隣地域の高校と統廃合の問題が浮上し、存続のため、地域住民の理解とその話し合いの場を作ろうと企画しました。

分水高校は、カヌー競技では、県下でも名が知られていることもあり、以前、カヌーのオリンピック銅メダリスト 羽根田卓也氏をお招きし、地域住民との交流会を行い、大盛況だったことから、樹木希林主演の「日々是好日」の上映会を絡めて、「地域に貢献する生き方とは」と題して、地域のことをもっと考えてみよう、パネリストとして、ロータリー新会員の小柳一君・平原美香君（分水高校一期生）と分水高校の生徒会役員の3名、コーディネーターとして、フリーアナウンサーの樋口幸子氏の司会のもと、ディスカッションを行いました。

会場入り口には、分水高校の生徒さんによる、各クラブ活動のカンパとして、入場者から、小銭でもいいからと募金を募り、微笑ましい光景がみられました。

会場には、270人くらいの来場があり、来賓として、燕市教育委員会 教育長 遠藤氏。第2560地区青少年奉仕委員会 委員長 石倉氏。同副幹事 青少年交換担当 小川氏。同副幹事 会員増強・戦略担当 佐藤氏。第4分区から 三本ガバナー補佐からお見えいただきました。

「日々是好日」は、原作は、森下典子氏の「お茶が教えてくれた15のしあわせ」の映画化で、お茶の魅力に気付き、日本四季の自然の中に身をおきながら、人生における大切なことに気付いていく、というストーリーで、茶道教室の先生を、亡くなる直前の樹木希林さんがコミカルに演じ、好評を博したことで知られている映画です。生徒役には、黒木華さん、多部未華子さんがしっかりと日本の女性の生き方を演じていました。

パネルディスカッションでは、生徒側から。通学途中に地域住民に会ったらしっかり挨拶をしよう。会場からは、分水祭りには以前は、分水高校の生徒の仮装行列が見られてが、来年は、分水祭りには「地藏堂おけさ」を踊らなくてもいいから祭りに参加してね、との声があり、笑いを誘いました。

ロータリアンと生徒の交流として、良寛施設の町歩き会。大河津分水路の新潟平野の関わりの勉強会やシンポジウムを行うこととしました。

コーディネーターとして、フリーアナウンサーの樋口幸子氏から、絶妙でタイムリーな見事な進行役で、パネリストも非常に分かりやすかった。との感想をいただきました。

来場者からのアンケートでも、概ね良好のようでした。ただ寒かった。

